

長野県少年男子 国体選手選考基準

令和4年4月1日現在

長野県ソフトボール協会少年男子の国民体育大会における選手の選考基準を以下のとおり定める。

【基本原則】

北信越国体において活躍し、本国体出場に貢献することができる選手を選考する。

【選考の基準と方法】

1. 国民体育大会出場資格を有している選手を選考対象とする。
2. 協会は、国民体育大会少年男子選抜チームを構成するため強化スタッフを構成する。強化スタッフは、伊那弥生ヶ丘高校男子ソフトボール部、飯山高校男子ソフトボール部の監督と協会国体対策プロジェクト委員で構成する。
3. 強化スタッフは、国民体育大会に向け選手の能力を見極めるため、強化練習会を年間通して複数回開催する。強化練習会は一般的な練習の他、随時、試合形式の練習を含む。強化練習会の日程調整は、強化スタッフが主体となっていく。
4. 強化練習会における選手の評価、選考の観点は次のとおりとする。

[投手] 球速・球威、球種の豊富さ、変化球のキレ、コントロール

[捕手] 盗塁阻止を想定した送球（捕ってからの速さ、肩の強さと正確性）

[野手] 守備力（あらゆる打球への反応・判断・入り方、肩の強さと正確性）

[攻撃力] 基本的な打撃力、状況に応じた攻撃姿勢と技術、走力（スピード・判断力）

5. 強化スタッフは、強化練習会の結果に基づき当該年度の国体候補選手20名程度をリストアップし強化スケジュールについて協議・決定する。
6. 選抜チームの監督は強化スタッフにおいて、指導者資格、チームマネジメントの実績、候補選手の陣容等を総合的に判断して決定する。
7. 選任された監督は強化スタッフでの協議の下、エントリー締め切り前の適切な時期に、国体候補選手20名の中から、最終選考者13名と補助選手7名程度を決めて協会に報告する。
8. 選手の選考はこの他に、全国高等学校選抜大会及び全国高等学校選手権大会に関わる公式戦の成績も加味し、選抜チームの戦略及び戦術によるチーム構成等総合的に判断する。
9. 監督は、選考の結果を選手の所属チームの監督を通して選手に通知し、（内定者・決定者のみ）協会は、選任した監督及び選考した選手に長野県（監督・選手）指定書を交付し、協会のホームページ及び広報誌（ソフトボール長野）を通して公開する。
10. 協会は、選考の基準と方法について変更が生じた場合は、対象のチームに通知し、協会のホームページ及び広報誌（ソフトボール長野）にて公開する。

【確認事項・その他】

選抜された監督及び選手には、当該年度を通して長野県代表であることを自覚した行動を求め、選考以後の国体強化練習、強化試合、レベルアップのための研修会や講習会に参加する。これに参加しない選手は内定（決定）を変更する場合もある。